

MY FIELD とは…

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。
原村で暮らす、おもしろくて素敵なお人をご紹介します。



Instagram やってます♪

https://www.instagram.com/haramura_nagano/

「農園縁側」 池淵 崇さん (42)

兵庫県出身、滋賀県育ち。大学卒業後は営業職に就き全国各地を飛び回る。広島で会社員をしていた時に社員の福利厚生の一環で野菜作りを任された事がきっかけとなり2011年3月に原村へ移住。戸惑いながらも、農業の面白さによりめり込み農家として独立することを決意。現在は中新田区に住み、皆から「ふっちー」と親しみを込めて呼ばれている。

農業は本当に奥が深い。

すごく大変だけど

それ以上におもしろい！

1年でも長く農業を続けたい。

農業をやるならパーマカルチャーを学ぶべきという友人からの強い誘いにより「安曇野パーマカルチャー塾」で自然に寄り添った暮らし方を学んだ。それをきっかけに自然農法を取り入れ実践してみるのが、売れる物を作るのはとても難しかった。そんなときに完全無農薬で育てたにも関わらず虫害がほとんどないキャベツと出会い衝撃を受けるとともに希望を見出した。是非とも弟子入りをしたいと志願し、沢山のことを学ぶことになる。「自然農法でうまくいかないのは、技術と知識と経験が足りないからだった。」と当時を振り返る。そして技術や知識だけではなく、「自分の畑にはどんな特徴があるんだろう」、「どんな手入れをするのが最善なんだろう」と想いを馳せること、「心」を持つて畑と向き合うことが大切だということも学んだ。

「農業って本当に奥が深い。すごく大変だけど、それ以上に本当に面白いよ！」と楽しそうに語るふっちーさん。今後やりたいことを尋ねると「1年に1度しかできない農業を1回でも多くやりたいし、そのために健康で長生きをしたい。経験をいっぱい積みたい。」と語ってくれた。暮らしの中で大切にしていることはと訊くと、「つい自分の都合で考えてしまいがちだけど、自分の都合ではなく、どうしたら相手にとってプラスになるだろうと考えるように心がけている。」と語ってくれた。その心がけは、声を発することのない野菜たちがどのようにしたら一番気持ちよくのびのびと育つことができるかという、農業にも通ずるものがあると感じた。そんなふっちーさんの周りには、いつも沢山の人が笑顔で集まっている。